

新除草・調節剤

ブタクロール除草剤

(CP-53619)

(取扱メーカー) 三菱モンサント化成株式会社

対象作物：水稻

性状・作用特性：本剤は α -クロルアセトアニリド系除草剤の一種で、主成分として2-クロル-2'-6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリドを5%含む粒剤である。

本剤は一年生イネ科雑草であるノビエやカヤツリグサ科のタマガヤツリなどに対して卓効を示し、成育初期または中期のマツバイに対して

もすぐれた効果を示す茎葉兼土壌処理剤である。

Pre-emergence 型除草剤であるが、ノビエ

1.5葉期まで作用し、成育停止ののち葉色が濃緑化して、矮化枯死させる。水に対する溶解性は小さく、土壌移行性も少ない。しかも残効性が比較的長いので、田植後4～8日に使用した際に雑草の既発生が認められない場合には、長期間雑草の発生を抑えるのでジフェニルエーテル系の除草剤よりも有効な長所を有している。

毒性：人畜毒性は急性経口毒性 $LD_{50}=1740 \text{ mg/Kg}$ (ラット) で極めて低く、魚毒性はB類

農林統計編(昭和45年12月15日農林省統計調査部公表)

昭和45年産農作物の総作付面積および耕地利用状況

(全国)

	作付(栽培)面積			耕地利用率			
	計	前年との比較		計		田	畑
		差	比率	利用率	前年との差		
	ha	ha	%	%	%	%	%
作付(栽培)合計	6,310,000	△499,000	92.7	108.9	△7.5	98.5	123.8
水 稲	2,836,000	△337,000	89.4	48.9	△5.3	83.0	0.0
陸 稲	87,400	△13,900	83.6	1.5	△0.2	—	3.7
麦 類	482,800	△120,700	80.0	8.3	△2.0	5.8	11.9
か ん し ょ	128,700	△24,900	83.8	2.2	△0.4	0.0	5.4
春植えばれいしょ	150,600	△18,500	89.1	2.6	△0.3	0.3	5.9
雑 穀	35,600	△7,800	82.0	0.6	△0.1	0.0	1.5
豆 類	337,300	△1,700	99.5	5.8	0.0	0.8	13.0
果 樹	416,200	3,400	100.8	7.2	0.1	—	17.5
野 菜	687,500	6,000	100.9	11.9	0.3	3.3	24.2
工 芸 作 物	256,500	△23,000	91.8	4.4	△0.4	0.9	9.4
桑	163,100	300	100.2	2.8	0.0	—	6.9
飼 肥 料 作 物	735,600	37,400	105.4	12.7	0.8	4.4	24.6

注) ① 採種圃、苗圃、花き等は計上していない。

② 耕地利用率は、耕地面積(畦畔を含む)に対する作付(栽培)面積の割合である。

③ 麦類の子実・青刈兼用面積は麦類と飼肥料作物に、豆類の乾燥子実・未成熟兼用面積は豆類と野菜にそれぞれ重複計上してあるので、作付(栽培)合計と作物別合計とは一致しない。

④ △印は、減を示す。